

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

先ほどの反問権の件なんですが、反問権、あの程度の、何を言ったか分かりませんという確認事項に反問権など使っては駄目です。ああいう場合は、議長に対して、「ただいまの質問の趣旨が分からなかった、もしくはよく聞こえなかったので、よろしく願います」と言えば、議長の議事整理権でやってくれるんですよ。反問権なんて、そんな安っぽく使うもんじゃないんですよ。議長、いかがですか。

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員、実はこの反問権については、研修先でいろいろと我々研修してきた結果、おっしゃるように、そのようなのが一般的な反問権だと私も取っております。しかし、本市議会では、そこまでやりますと、討論になる可能性があるということで、極めて慎重にまず対応しようということで、おっしゃる趣旨は十分理解できますが、糸魚川市議会としては、今の質問について問いただすと、この反問権については、今後、いわゆる検討する価値があると思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古畑議員。

○17番（古畑浩一君）

議会運営委員会の中で、その判断基準をはっきりさせましょう。質問の確認程度のことは、やはり反問権とは言いません。これはやはり質問に対して、要するに反問してはいけないという今までのルールを、首長等については、それは言いたいこともあるだろうし、聞きたいこともある。ましてやデータの資料だとか、分からない場合には答えられないんだから、市長に限って反問権を認めましょうというのが、4年前の話ですけれども、私たちが決めたやり方。その基準が今曖昧だと言うのなら、また、ちゃんと決め直しましょう。

了解しました。

○議長（松尾徹郎君）

暫時休憩いたします。

再開を1時15分といたします。

〈午後0時08分 休憩〉

〈午後1時15分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、利根川 正議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。〔1番 利根川 正君登壇〕

○1番（利根川 正君）

みらい創造クラブ、利根川 正です。初めてのことであり、不慣れな点が多々ありますが、糸魚川市の発展のため、一生懸命頑張る所存でありますので、よろしくをお願いします。

それでは、先に通告しております米田市長の公約、中山間地農業、空き家問題、買物弱者、観光事業、豪雪対応、官製談合再発防止について、7点の質問をします。

1、米田市長の公約について。

(1) 経済面で「公民連携プラットフォームによる行政改革を推進」と掲げていますが、その内容と、どのようなメリットがあるか、伺います。

(2) 「駅北地区や公共の休眠施設を活用し、サテライトオフィス、ワーケーション対応ができる環境を整備」とありますが、具体的にどのように進めようとしているのか、伺います。

(3) 安心の面では、地域医療の存続とあります。「地域基幹病院である糸魚川総合病院を大学病院の高度医療のサテライトセンターとして診療強化を支援」と「広範囲な本市において、遠隔診療や訪問診療の充実を支援」とありますが、支援の具体的内容を伺います。

(4) 未来について、「豊富な水資源で水力発電の運用を」と「地域資源を活かし官民連携による小水力などの運用で、持続可能な地域を目指す」とありますが、具体的な内容を伺います。

2、中山間地域の農業について。

(1) 糸魚川市の中山間地域における農業を取り巻く環境は、過疎や高齢化などによる耕作放棄地の増加など、目に見える形で変化している実態で、現状をどう考えているか伺います。

(2) 人・農地プラン実質化の取組に連携する支援で令和3年度スタートしていますが、課題克服のため農業者や農業法人と、どのような協議がなされているか伺います。

(3) コロナ禍で需要減退の実態の中、昨年の米の販売実績と令和3年産米の販売予測、今後、水田転換作物の大豆等の対応策を、どのように考えているか伺います。

(4) ため池の防災面で、調査や整備などを含めた取組は、どのように行われているか伺います。

3、空き家問題について。

(1) 上越市のこの冬一斉雪下ろしのとき、空き家の所有者不在問題があったが、糸魚川市では、土地、建物の所有者不明等について把握しているか伺います。また、土地の相続登記の義務付け、変更登記義務化等により、市は、この解消に取り組んでいるか伺います。

(2) 空き家の外観目視による不良度判定調査の実態状況、また、空き家家財道具等処分事業補助金、危険空き家除却支援補助等があるが、活用実績を伺います。

4、買物弱者について。

(1) 駅北と早川地区のスーパーマーケットが近年閉店しているが、市内では移動販売等3企業とまた、新たに5月より移動スーパーとくし丸がスタートしたが、これら企業の取組は、免許返納者、足腰が弱く出かけられない高齢者等の見回りの役目もしています。企業では、車の入替え、燃料等の経費が増している現状で、市の運営支援をさらに考えてもらいたく、今後さらに増える買物弱者を、市はどのように考えているか伺います。

(2) 移動バス、タクシー、代行サービス業者の促進と支援を図り、高齢者が買物に気軽に出か

けられるシステムができないか伺います。

5、観光事業について

- (1) コロナ禍でも家族で楽しむための能生、根知地区のスキー場、また、海水浴場の駐車場をオートキャンプ、ワーケーション施設に開放できないか。さらに、各地区にある既存施設をキャンプ型に変えることができないか伺います。
- (2) 糸魚川といえば、魚。しかし、糸魚川駅周辺で、糸魚川産地魚、地元野菜の販売所がなく、観光客からの問合せがあるが、市は、今回買い上げたビルに販売所などを整備する考えがあるか伺います。
- (3) 観光資源でもある山の活用と保護の面で、登山ブームである今、登山道やトイレ、駐車場などを整備して、さらなる登山者、ツアー客を獲得する考えがあるか伺います。

6、今回の豪雪時の対応について。

- (1) この冬の豪雪災害に見舞われた状況下で、豪雪対策についてそれぞれの課題、検証すべき点があったと思われませんが、現時点で総括できることは、何か伺います。
- (2) 大きな問題点は、高速自動車道と国道、市道等の道路確保と考えますが、市はどのように今後、考えているか伺います。
- (3) 冬の前に、豪雪時の緊急連絡先一覧表（除雪業者一覧、屋根雪下ろし業者一覧）を配布して、問合せがスムーズにいくようにしてもらいたいが、市の考えを伺います。

7、官製談合再発防止について。

- (1) 大きな組織では、情報責任者を置いて、情報管理課として適切に稼働させています。明瞭で利便性があること、外部を遮断し、保護することを両立させています。常に、内部のチェックと不正アクセスなどを監視しています。市民から、個人情報など大丈夫なのかと、問合せがあります。今回の事件を踏まえ、情報管理課を新たに設置し、管理対策を徹底してもらいたいので、市の今後の対応を伺います。

以上、質問の内容です。よろしく申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

利根川議員のご質問にお答えいたします。

1 番目の 1 点目につきましては、市内には技術や人材がないために、市外に出ている仕事を公民連携プラットフォームの中で検討し、市内に新たな仕事を生み、若者の雇用創出につながるという好循環を生み出し、地域経済の活性化につなげていきたいと考えております。

2 点目につきましては、国の地方創生テレワーク交付金を活用して、糸魚川駅周辺の民間施設の開設支援と、美山多目的集会施設の改修を行い、テレワーク環境を整備する計画であります。

3 点目につきましては、臍臓・胆道サテライトセンターにおける高度医療、技術取得に向けた研修費等への助成や、臍がん・胆道がんドックへ費用助成を継続してまいります。

遠隔診療・訪問診療につきましては、広い市域をどのようにしていくか、カバーしていくのかなどを含めながら、関係機関と協議をしてまいります。

4点目につきましては、今年度3地区において懇談会を開催し、小水力発電への理解を深め、活用策について協議を進めることといたしております。

2点目の1点目につきましては、耕作放棄地の増加や、農業用施設の維持管理が困難になってきており、今後の中山間地農業について、地域全体で話し合っていくことが必要であると考えております。

2点目につきましては、継続して農業者の皆様と意見交換を行ってきており、引き続き担い手の育成など、課題解決に向けて取り組んでまいります。

3点目につきましては、JAひすいにおける2年産米の販売実績は堅調でありましたが、大規模農家の一部では、業務用米の販売に苦勞したとお聞きいたしております。3年産米についても、需要の減少が見込まれることから、関係機関と連携をし、飼料用米の転換を促進しております。

4点目につきましては、点検結果を踏まえ、防災重点ため池を中心に、ハードとソフトの両面から防災・減災対策を実施しております。

3番目の1点目につきましては、固定資産税の課税台帳や登記簿、戸籍等による調査を行い、所有者の特定を行っております。

また、解消の取組といたしましては、死亡届の手續において、相続登記等のお願いをいたしております。

2点目につきましては、970件の空き家について、不良度判定調査を実施いたしました。また、2年度で家財道具等の処分で22件、危険空き家除去支援は4件の活用実績がありました。

4番目の1点目につきましては、現在、移動販売サービスなどの事業活動を支援しており、引き続き地域との状況を把握しながら、地域の状況把握に努めながら、買物弱者支援策を検討していくとともに、事業継続について支援をしてまいります。

2点目につきましては、お出かけパスやタクシー券交付事業を実施し、高齢者の経済的負担の軽減と外出促進を図っております。

今後も地域や利用者のご意見をお聞きし、関係事業者とともに利用者の利便性向上に向けて、連携して取り組んでまいります。

5番目の1点目につきましては、施設の利用状況等を踏まえる中で、検討する必要があると、誘客に向けた手段の一つであると考えております。

2点目につきましては、民間による運営が好ましいと考えており、市が設置する考えはありません。

3点目につきましては、日頃から関係団体と登山道の管理や山の魅力アップについて話し合いを行っており、計画的に駐車場などの整備を進めているところであります。

6番目の1点目につきましては、除雪路線の再編や、建設業協会とともに、豪雪時でも交通の確保ができる体制の構築が必要と考えております。

2点目につきましては、国や県と今冬の反省を踏まえ、さらなる連携強化を図り、円滑な交通の確保に努めてまいります。

3点目につきましては、これまで市のホームページに業者一覧表を掲載し、情報発信しているところですが、今回の豪雪を踏まえ、除雪がスムーズに行えるよう検討してまいります。

7番目につきましては、当市において情報セキュリティーポリシーに基づいて情報資産を管理い

たしており、システムによる外部への流出制限や、各職員のパソコン操作等の履歴を監視しており、今後のデジタル化へのさらなる対応を含め、情報セキュリティを強化するための体制が必要であると考えております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

では、2回目の質問をお願いします。

米田市長の公約について、（1）公民連携プラットフォームで新たな仕事を生み出すとしていますが、現段階でどのような構想を持って、またその手法、進め方を分かれればお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えします。

公民連携プラットフォームであります。新たな仕事を生み出すというふうに申し上げて、議員のご質問ですが、新たな仕事というよりも、今、行政の中で抱えている課題というのがあります。行政だけではどうしてもできない部分があります。そういったところを民間の力を借りて進めたいというところが主に、まずはそこからだと考えております。

1つは、行政改革というものを進めておまして、その中で民営化、民間の力を借りて進めたほうがいいのではないかとこのものも何項目か用意しております。まずはそういったところを洗い直しながら、かつ行政の中でも結構市外に出て行っている仕事というの、具体には申し上げられませんが、ございます。そういったものを市内の人材で実践をしていく。市内の消費を高めていく、そんな構想を持ちながら、プラットフォーム、会議体ではなくて、その都度、場面、場面の事業者の皆さんとの話合いから進めていかなきゃいけないというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

今の連携のプラットフォームの必要性を強調しておりますが、企業と成果を上げるためには、行政改革マネジメント室とか、民間活用担当部署が必要だと思います。そのような考えはないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

今、進める中において、そういうところが部署が必要になる可能性もあれば、その中で立ち上げていきたいと思っております。まずは、公民連携プラットフォームの中で協議をしながら進めていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

（2）のサテライトオフィス、ワーケーション対応で、環境整備は必要とあるが、現時点でどのような要望があるか。また、規模をどのぐらいに予定しているかお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

現在、サテライトオフィス等の整備や、その後の利用促進に向けまして、アドバイザーや関係者とともに検討を進めているところでございます。その中で聞かれる意見としては、テレワークに必要な設備の面では、高速のWi-Fi環境、また電源、会議用ブース等の一般的なものでありまして、それ以外の部分につきましては、アクティビティーや二次交通の充実、また、市内事業者との関係性の構築、地域の課題解決に貢献したいという要素も挙げられております。

規模につきましては、今回の国の地方創生テレワーク交付金で整備するものは、公共施設では20人以上50人未満が一度にテレワークできる規模でありまして、民間では20人未満の規模と想定しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

今のサテライトオフィス、ワーケーションの中で、市内の企業ももちろん入れますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

市内の企業ですとか人も利用は可能でございます。

ご利用いただく中で、進出企業や人との交流で、よりよい関係性を構築していただきまして、様々なネットワークで自社の課題解決等につなげていただきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

ありがとうございました。

次、4番目の小水力発電の件ですが、具体的な内容と、先ほど市長は3地区が有力候補とありましたが、その中でもどちらが優先されるか、分かればお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

お答えします。

3地区、今入ることということで、先ほどもご指摘のとおりでございます。現在、1か所は根知、また木地屋川ということ、あともう1か所ですね、今井の山本という3地区につきまして、少し取り組んでみたいということで動いております。具体的には、既に根知と小滝地区には、少しアクションをかけておるところであります。

今後、この事業を進めていく中で、修正できるところは修正しながら、また進めるところは進めながらということで、慎重に、相手様の住民の方々もおられますので、しっかりとそういった対話をしながら進めていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

同じく、今年度、第2次糸魚川新エネルギービジョンをスタートさせましたが、2050年度までに温室効果ガス実質ゼロ宣言がされました。今後、新エネルギーが加速することは間違いありません。

ほとんどの車が電気自動車になると考えますが、水力、太陽光、バイオマス発電を最大限活用し、地域で生産、地域で消費、利益をもたらすよう、このすばらしい地域資源を生かして、さらに住みよさナンバーワンの糸魚川を進める必要があると思います。ご意見をお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

お答えします。

議員の言われますとおり、地域資源を新エネルギーに変える、先ほどの3か所、話をしていくというところにもつながりますけども、地域資源を新エネルギーに変えながら地域に循環させることは、地球温暖化の防止にもつながり、大変大切なことだというふうに認識しております。

この取組、仕組みを進めていくためには、なかなか課題も多いものだというふうに考えておりますが、一つずつしっかり対応していく、解決していくことが、議員の言われます住みよさであった

り、持続可能なまちづくりというところにつながっていくものというふうに考えております。

まずは先ほどご質問がありましたとおり、エネルギービジョンに掲げましたプロジェクト、先ほど申し上げたのは、1のところにあります地域住民主体による中小水力発電導入と地域活性化策への活用という部分で現在、取り組んでおるところであります。

全体を通しましても、事業者、市民、地域の皆さんからのご理解をいただきながら、また、応援をいただきながら、しっかりと進めていきたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

ありがとうございました。ぜひ公約実現に向けてよろしくお願いします。

次に、2の中山間地農業について伺います。

担当の方に、この糸魚川の中山間地域の農業をどう考えているかお伺いしたいのですが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島農林水産課長。〔農林水産課長 木島美和子君登壇〕

○農林水産課長（木島美和子君）

お答えいたします。

糸魚川のような中山間地においては、大変農業を継続するに当たって厳しい条件にあるというふうに思っております。具体的には、やはり農業者が少なくなる中で、農業用施設、農道ですとか用水ですとかため池等の施設の維持管理が困難になってきていることが挙げられるかと思えます。

以上であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

私の地区の現状が主なんですが、中山間地のまず水の確保、また、残雪や土砂災害、イノシシの被害などでかなり困難している現状です。

また、水田の排水等でU字管等が破損したり、水田が崩れたりしております。特に山の中腹にある耕作放棄地に多く見られて、下には民家があるという危険な状態もあります。

市と住民とで耕作放棄地の水回りを春先、一緒に確認してもらい、用水路の水漏れ、土砂災害危険箇所がないか等、専門的な見方でチェックを春先、ぜひお願いしたいんですが、市の積極的な参加で中山間地を考えてもらいたいのですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島農林水産課長。〔農林水産課長 木島美和子君登壇〕

○農林水産課長（木島美和子君）

議員ご提案の耕作放棄地の水回りの点検につきましては、市内全域の対応は困難なため、各地区

で対応いただくようお願いいたします。

ただ、営農に必要な用水ですとか、ため池等の農業用施設につきまして、地区で巡回したけども、修繕したほうがいいのか、あるいはまだしなくても大丈夫なのか、判断がつかないというような場合には、ご連絡いただければ、市の職員も一緒に点検に回らせていただきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

では、2番目、昨年度の「農業、これからを考える会」に人・農地プランの実質化の話合いがありました。私の地区では、踏み込んだ内容を実施までには至っていないように思います。実質化に向け、大胆な事業が必要と考えます。

これは事例ですが、刈羽村の2020年から始めた「儲かる農業応援事業」で、初年度に13団体の事業所が補助金3,000万円を活用して計画をつくり、事業化し、その結果、新規設立農業適格法人が4法人、新規雇用5人、新規園芸作物加工品販売促進が4件、これが1年間で成果がありました。

糸魚川でも雇用を増やし、水田の活用のためにも一歩踏み込んだ対策を打つべきだと考えますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島農林水産課長。〔農林水産課長 木島美和子君登壇〕

○農林水産課長（木島美和子君）

刈羽村さんで今現在やっぴらっしゃる取組につきましては、私も新聞記事を拝見したところでございます。5年間で総額2億円の事業費を見込んでいるということでありまして、役場のほうにお聞きしたところ、全部一般財源で賄うというふうなお話でございました。

刈羽村さんとは地域条件や営農条件が違うため、単純に比較はできませんが、当市においても毎年数名の新規就農者を確保しており、今後も国や県の補助事業を有効活用し、取り組んでまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

次に、3番目、転作作物の件なんです。米から転作作物は枝豆等がありますが、これも事例で通年栽培している燕市水道町のなごみの水耕という形で、障害者を雇い手に水耕栽培で農業と福祉を進めている事例があります。室内栽培のため、天候に左右されず、無農薬、通年収穫の利点と利益で工賃をアップすることができています。ニンニク、レタス、小松菜、ホウレンソウ、農業と福

社の連携で、ストレスなく精神的に安定につながっているということです。

糸魚川市でも空き施設の利用と太陽光水力発電を使い、室内の水耕栽培などを進めることができないか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島農林水産課長。〔農林水産課長 木島美和子君登壇〕

○農林水産課長（木島美和子君）

お答えいたします。

水耕栽培のメリットというのは、一般的に土を使わないため、土壌の病害や連作障害がないこと、また、デメリットは、設備機器が高く、小規模経営では採算性が取れないことなどが挙げられます。ご提案の遊休施設や地域資源の活用につきましても、大変重要なことではありますが、先ほどご提案いただいた燕市さんの事例につきましても、先月から始まったばかりとお聞きしておりますので、今後の取組を注視してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

ぜひ前に進めてもらいたいと思います。

（4）ため池の防災面について、18年7月の西日本豪雨で多くのため池が決壊しています。市内で補強工事が必要なため池をどう進めていくのか伺います。

また、周辺住民への周知を行っているかもお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島農林水産課長。〔農林水産課長 木島美和子君登壇〕

○農林水産課長（木島美和子君）

防災重点ため池25か所のうち、耐震工事を実施したところが4か所、今後予定しているところが1か所でございます。

また、現在、11か所のため池でハザードマップを作成しまして、各戸配布、避難所等での掲示のほか、市のホームページ等でも公表し、市民周知を図っております。

残りのため池につきましても、順次、作成してまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

ぜひ修繕のほうをよろしく申し上げます。

続いて、3番、空き家問題について申し上げます。

環境生活課にお聞きしますが、空き家になる原因は少子・高齢化、相続問題の発生、固定資産税

の対策のため、また、解体費用などを捻出ができない、世帯数の増加により、新築住宅の増加が挙げられ、空き家が増えるリスクは、周辺地域の悪影響、犯罪の温床、地価の価格の下落、また、災害時に倒壊のおそれがあるなどが挙げられます。

今年、相続登記義務化が4月28日に、民法等法案改正され、2024年度までに施行予定ですが、市はそれに向けて取り組むことは何か伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

相続登記の義務化につきましては、所有者不明の不動産の回収に向けての国の施策ということで理解しております。

市も、法務局や司法書士と連携をしながら、相続登記の必要性について、市民周知に努めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

空き家問題で所有者の確認の場合、どのように、どこまで追求しているかお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

一例としまして、市民、地区の方々から、空き家等についての苦情があった場合、市では現地を確認の上、適正管理をお願いする文書通知を行っているところであります。その際には、建物、土地情報、また固定資産税課税台帳の確認を行って、所有者、また相続人のほうへ送らせていただいております。

ただ、そういったものが届かないという状況もございます。そのようなときには、引き続き登記簿、住民票、戸籍等を取得をしながら、所有者や相続人の確定に努めているというところでございます。

相続放棄の手続が行われるところでもありますが、私どもとしましては、民法で規定される第1順位、これは子や孫から順番に第3順位、兄弟・姉妹、めい・おいのところまで調査をし、相続人を確定をしているというところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

完全に所有者が分からないというときの対策としては、市はどのように考えていますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

いわゆる所有者が行方不明であったり、相続人が本当に不存在という場合のことですけれども、最終的には、いわゆる空家対策法というものがありますけれども、そちらのほうでの対応をしていくというようなことで現在考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

空き家に関する対策と方向性なんですけど、予防対策として早期発見、早期対応の仕組みづくり、事前に相続対策の促進、相続登記の促進を行う、固定資産税の納税通知書の活用、早期発見、地区の代表者より市へ通報してもらい、総合的な対策の専門チームを設けてもらい、複雑で個人のプライバシーに踏み込んだ問題ですが、今後、さらに増えるこの大きな問題を避けて通れないと思います。市の考えをお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

お答えします。

議員のおっしゃいますとおり、空き家にならない予防対策が一番大切なんだろうなというふうに考えております。現状では、今ほど議員おっしゃいましたとおり、そういった周知、特に施設への入所や死亡届の提出においては、「おうちのあれこれ」という冊子の配布であったり、納税通知書には空き家の適正管理の利活用等についての掲載を行っているというところがございます。こういった空き家にならない啓発と適正管理について注意を行っているというのが現状でございます。

また、市外転出をされる際には、地区の代表者や近所の方に連絡先を伝えて、管理をいただいているという地区の取組のところもでございます。そういったところを含めまして、所有者が自ら行う空き家対策だけではなくて、地域全体で空き家対策、コミュニティというところが重要になってまいります。互助、共助に加えて、行政が行う空き家対策というものを並行して進めていきたいなというふうに考えております。

今後ともこれについては現在、全国的にも課題になっているところではあります。先進的な取組を参考にしながら、所有者への意識啓発を進めるとともに、地域や民間の皆様と連携した空き家対策を検討してまいりたいというふうに考えております。

それと、今後の専門的な課というところがございます。現在、空き家等に関するところにつきましては、複数の課が連携をして対応しているところがございます。今後の業務の中、また業務量の中をまた確認をする中で、どのような方針がなされるのかということも含めまして、今後の取組につきまして判断されるものというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

ぜひ踏み込んだ対策をお願いしたいと思います。

次、4番目、買物弱者についてお願いします。

過去、多くの議員が触れておりますが、買物支援で食べ物が一番大切だと思います。高齢者は、行動範囲が狭くなり、買物弱者となりがち。過疎地域のみでなく、駅北地区にも広がっている現状です。離れている家族、子供が週1回ほど代わりに買物に行ったり同行したりしているところをよく見ます。

本来、買うものを自分の目で見て、選んで買う楽しさを求めている、買物に行けない高齢者は、移動スーパーで買うようになっていきます。移動スーパーのメリットとして、高齢者の見回り、これは最初に利用するかしないか確認してスタートするのですが、必ず自宅へ訪問して、買物をしながら近所の方々と話し、また、金銭を扱うため、頭の体操にもなるメリットが多いです。そのほかにネットスーパーや宅配業者も自宅まで配達してくれますが、高齢者には注文操作が難しいようです。

そこで、糸魚川市は買物困難でいる方が市内で何人ぐらいいるか、また、どの地区に多くいるか把握しているでしょうか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田福祉事務所長。〔福祉事務所長 嶋田 猛君登壇〕

○福祉事務所長（嶋田 猛君）

お答えいたします。

具体的には買物に困っている方が何人いるのかということでございますが、現在そのような数値については実数については把握をしておりますが、主に高齢者の独り暮らしである方等が、やはり買物に不自由を感じているのではないかとこのように捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

そういう方ですね、困難な方をぜひくまなくチェックしてもらって、確認のほうをお願いしたいと思います。

次に、移動販売業者さんと定期的に協議しているかをちょっとお聞きしたいんですが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

現在、市では3者、4台の移動販売に対しまして、運営費の補助金を支出しておる状況であります。補助金の支出に当たりましては、当然、運行状況ですとか、内容等の確認をした上で支出しております。この支援の中には、高齢者の見守りということも要件となっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

今後、さらに増える買物弱者を支える移動スーパーさんの補助の増額をぜひお願いしたいんですが、いかがでしょう。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

移動販売事業への支援につきましては、平成27年の1月からスタートしてきておりまして、最近では令和2年度に人件費相当分の拡充、また令和3年度、今年度からは月当たりの補助額のアップ等もしてきておりまして、さらなる引上げ、増額につきましては、企業活動への支援という観点からは、慎重な判断が必要であると思っておりますが、実際、買物で困っておられる方もいらっしゃいますので、そういう企業活動への支援と兼ね合いも含めて、検討してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

支援のほう、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

次、5番目、観光事業について。

近年、能生海水浴場に多くのオートキャンプ型の車が来ています。主に長野県ですが、上越郷津海岸でも同じくオートキャンプに来ている車が多くおられます。このオートキャンプ、ワーケーションをスキー場、海水浴場の駐車場を開放して、景色がよく広い場所で解放感があり、受付の場所も近くにあるため、この夏からぜひ提案してもらいたいのですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

例えば海水浴場の駐車場を例にとってお話しさせていただきますと、それぞれの目的に沿って管理をされている状況でありまして、新たな機能を持たせるには、適切な維持管理と合わせて考える必要があるというふうに考えております。

このようなことから、施設の利用状況ですとか、ニーズとか、管理方法を含めて、総合的に判断をする必要があるというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1 番（利根川 正君）

次、2 番目です。午前中の田原洋子議員も提案していましたが、駅前に鮮魚センターがありましたが、観光客から糸魚川産のカニ、エビなど、糸魚川を代表する地魚はないかとよく聞かれます。地元の越の丸なす、シイタケ、山菜などを含め、駅前に販売所を造ることができないか、また、道の駅という形でもよいのですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

基本的には民間による運営が基本であるというふうに考えております。以前にはヒスイ王国館に鮮魚店が入っていたりしていたわけなんですけども、撤退をされております。また、生鮮食料品につきましては、本町通り等で定期的な市が開催されている状況であります。また、いずれにいたしましても、ニーズによってこのような店が出るか出ないか、出せるのかどうかというのが決まってくるものだというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1 番（利根川 正君）

次、3 番目、観光資源である山、今回5月に遭難がありました。整備するところが多くあり、携帯電波が悪いところもあります。登山道、トイレ等、古くなっていますし、登山者に気持ちよく来てもらうために、山の整備が必要と思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

登山道の整備につきましては、例年、各山岳団体の皆さんに日常的な整備でありますとか、誘導看板の設置などをお願いしているところであります。

また、今年度は梅海新道の白鳥小屋付近に簡易トイレを設置したり、あと蓮華温泉駐車場の拡充に向けた準備作業を行う予定であり、今後とも広い市域の中での登山道でありますので、できることから計画的に整備をしていく必要があるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1 番（利根川 正君）

ぜひ整備のほうをよろしくお願いします。

次、6 番目、豪雪時の対応について。

課題検証で救急車の対応ができるかどうか的大事だと思います。命を守ること、消防・医療に関する検証で、これも例なんです。福井県鯖江市で軽四輪の車を支援隊2名で編成し、救急活動を

行い、支援隊は救急車と同時に出動し、救急車両の走行並びに搬送の支援を行います。積雪時には、現場まで徒歩となり、メインストレッチャーは使えず、バケット担架に乗せ、そりのように雪の上を滑らせて搬送していたという事例があります。緊急隊3名のところ、支援隊を含め5名で豪雪時にスムーズに搬送できたという事例です。このようなことを糸魚川市でもぜひ検討してもらいたいのですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

小林消防長。〔消防長 小林正広君登壇〕

○消防長（小林正広君）

お答えいたします。

当市でも以前から大雪などによる道路の状況が悪かったり、あるいは患者さんの状態によりまして、人員を増やす、あるいは車両を追加するなどをして、救急隊の支援体制を取っております。

大雪の際には、議員の今のお話のように、車が行けなくなるところの途中から徒歩で現場へ向かい、そして、スノーボード、担架ですね、スノーボードで救急車までそりのようにして搬送するという活動も実際に行っております。

いずれにしましても、この積雪時に限らずどんな悪条件の中でも傷病者を救うべく、状況に応じた対応、活動を取っておるところでございます。

以上であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

ぜひともスムーズに搬送できるようにお願いしたいと思います。

次に、（２）の道路確保の問題ですが、一番大事な国道において、大型車の冬用タイヤの確認、チェーンの装着の確認、また冬用タイヤで消耗が激しく、スリップの原因で渋滞などが起きている現状を見ますと、この現状を道路管理者と協力して対策を打てないか、市として対策を打てないかをお聞きしたいんですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

斉藤建設課長。〔建設課長 斉藤 浩君登壇〕

○建設課長（斉藤 浩君）

当市におきまして、北陸自動車道と国道8号は、地域経済を支える重要物流道路であることから、物流や人の移動に支障のないよう、関係機関と連携を図り、また、北陸自動車道及び国道8号の冬季交通確保について要望等を行ってまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

3番目の冬の前に準備できることということで、今回、豪雪時で除雪の作業で、山間部の除雪業者より、雪による倒木が多く、作業中、杉の木の先端が折れ、ロータリー除雪車の前に立ちふさがり、持参していたチェーンソーで夜中、切っていたと聞きました。

今後、倒木が予想される危険な箇所、山間部、広域農道など、秋までにその箇所をあらかじめ伐採しておくことができないか、お聞きします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

齊藤建設課長。〔建設課長 齊藤 浩君登壇〕

○建設課長（齊藤 浩君）

除雪に支障となる樹木につきましては、冬季前の広報で、所有者から事前の処理をお願いしているところがございます。合わせて議員おっしゃいますような地区の除雪会議におきまして、議員が今言われたような事例を紹介して、事前の処理についてさらにお願ひしていきたいと思ひます。

あと、倒木の予想箇所についても、所有者でなければ分からないような場所もあるかと思ひれますので、地区長さんや所有者から協利いただけるよう、引き続きお願ひしてまいりたいと思ひておひります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

ぜひ所有者の方と協利のほうをお願ひしたいと思ひます。

次、7番目、官製談合再発防止について。

市役所の個人情報が多く、扱ひ量も膨大で、ほかの市町村では情報管理課を設けて管理してはいますが、糸魚川市役所の管理等は、どの課で行っているのでしょうか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

情報に関しましては、総務課の広報情報係で取り扱っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

2012年度以降の閲覧可能な状態のID、パスワード等、アクセスをかけ、管理できたと思ひますが、なぜできなかったのかをお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

お答えいたします。

議員お尋ねの件につきましては、財務会計システムの件になるかと思えます。こちらのほうは、まず、財務会計に入ります前に、個人のパスワード、IDが必要となっております、それを入力することにより、財務会計のほうに入っていくこととなっております。

ただ、今回問題となっておりますのは、その財務会計の中の一つのシステムであります契約管理システム、こちらのほうの対応の件になってまいりますので、現在のところシステム会社のほうの確認が取れまして、そちらのほうもID、パスワードというわけではないんですが、かなり絞った形での閲覧というか、作業のほうができる状況とさせていただいております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

今後のことを考えますと、管理専門業者に情報を扱わせるように、市の職員ですが、情報管理課を新たに設置したほうが良いと考えますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

現在は外部への制限やログの管理等で情報管理を行っておりますけれども、今後、さらなるデジタル化等が進んでまいりますことから、体制につきましては、どのような形がよいのか、新たに課を設けるのがよいのか、どういう形がよいのかというのは検討してまいりたいと思っています。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

今回の対策として、各課への入室制限されましたが、これは一つの対策と思いますが、あとまだやれる対策は何があるか、何を考えているかお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

基本的には不祥事防止の行動指針というのがございますので、そこに行動規範ということを職員のモラルとしてうたっております。それを全て守ることが、まずできる対策の一つだと思っておりますし、あと原因を究明する上で、なぜそのようなことが起きたのかも含めて、それに対応することが、今後新たに取り組まなければいけないことだと思っておりますので、まず、職員としてのモ

ラルをきちっと守ることから始めてまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

あと、組織としてのコンプライアンスの取組という形で、コンプライアンスとは法令厳守、行動指針により、個人個人に向けられ、イメージが強い印象を受けますが、コンプライアンスの中心は組織的な対応の取組にあります。多くの企業でもコンプライアンス委員会を設けています。糸魚川市としてコンプライアンス委員会を設け、法令厳守を尊重することはできないでしょうか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

議員おっしゃるとおり、今まで組織として体制づくりが不足しておった部分があるというふうに感じておりますことから、おっしゃるようにコンプライアンス委員会等を立ち上げて、組織として対応できるような体制をつくってまいりたいというふうと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

ぜひお願いします。その中にも議会のメンバーも入れるようにお願いしたいと思います。

最後になりますが、糸魚川市は平成26年12月、糸魚川市職員不祥事防止のための行動指針を出していますが、その中から管理監督者の心構えで、危機管理の基本は身の回りで起こっていることに気づくことができるかという点にあります。

この気づくことができるかどうかの違いは、問題意識があるかないかの違いであり、常日頃から起こり得る可能性がある不祥事を想定し、危機意識を持つことによって、不祥事の兆候に気づくことができるようになります。自ら職場で想定される不祥事について問題意識を持ち、それを防止するための対策を講じ、形骸化しないよう、継続していくことが不祥事の防止につながります。

不祥事防止の鍵は、職場を管理し、部下の意識を左右する管理監督者が握っています。そこで、副市長、管理者の仕事として、市役所の4階のみでなく、1階から3階まで、ぜひ朝の挨拶や積極的な声かけにより、部下職員が相談しやすい雰囲気をつくってもらいたいのですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

藤田副市長。〔副市長 藤田年明君登壇〕

○副市長（藤田年明君）

お答えいたします。

前、横山議員の質問だったと思うんですけども、確かに意図して1階、2階へ行く機会というのは少ないんですけども、決裁文書等の中で、疑問点等があれば、職員を呼んで、話をしたりしておりますし、全く意思疎通がないというわけではございません。

ただ、今回の事案を受けて、1階、2階、3階、そういったところの朝礼等に行って、話をするというのも一つの方法なのかなと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

ぜひ市の職員と対話を持ってもらいたいと思います。よろしくお願いします。

市民は再発防止をぜひとも実行してもらい、信頼回復を願っております。ぜひよろしくお願いします。

以上で質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、利根川議員の質問が終わりました。

関連質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

関連質問なしと認めます。

暫時休憩といたします。再開を2時半といたします。

〈午後2時22分 休憩〉

〈午後2時30分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、田中立一郎議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。〔12番 田中立一君登壇〕

○12番（田中立一君）

市民ネット21、田中立一です。発言通告に基づき一般質問を行います。

1、官製談合について。

市職員が官製談合防止法違反の疑いで逮捕・起訴されたことは、誠に遺憾である。徹底的な原因究明と再発防止に努めなければならないところであり、以下伺う。

(1) 県内では過去3年連続官製談合が発生し、都度大きな社会問題として取り上げられたが、